

3. 点検・評価委員会からの全般的な意見

<p style="text-align: center;">意見</p>	<ul style="list-style-type: none">・教育に関する事務の点検・評価の内容と各学校の「学校運営連絡協議会」を活用して実施する学校評価とどう連動させるか、どのように関連付けて生かしていくかを考える必要がある。・「学校運営連絡協議会」の会議がマンネリ化する傾向があるため、会議自体の活性化を図る必要がある。・団塊世代の教員の大量退職状況を背景に、区独自にどのように良い人材を確保していくかが大きな課題であり、その確保策を検討する必要がある。・新卒で配置された教員の指導育成や他区から異動してくる教員の再教育指導などを組織的に実施する体制を区教委として整え、教員の資質向上を図っていくことが大きな課題である。・1時限の授業に命懸けで取り組む教員を一人でも多く育て上げることが、教育委員会や指導主事の使命の一つである。・最終的には、学校という場で子どもと教師の良好な人間関係を築いていくことが基本であり、それが子どもの心身の健全な発育や学力の向上に結びつくとともに、魅力ある学校づくりにつながっていく。
---------------------------------------	---